

User's Guide

for Qio™ E3 Professional SxS™ Media Reader

Qio E3対応 プロフェッショナル
SxSメディアリーダー・ユーザーズガイド



SxS



**For
Windows**

SONNET™
SIMPLY FAST™
www.sonnettech.com

Creativity Stored Here™

目次

1	製品概要とパッケージの内容	1
	概要	
	パッケージ内容—QIO-E3-E34	
	パッケージ内容—QIO-E3-PCIE	
2	Qio E3筐体の説明	2
3	Macでのソフトウェア/ハードウェアのインストール手順	3
	A – ソフトウェアのダウンロード手順	
	B – Qio E3システムのソフトウェアインストール手順	
	C – SxSドライバのインストール手順	
	D – Express Bus Extender PCIe 2.0インストール手順	
4	MacとQio E3の接続手順	4
	A – Qio E3をThunderboltポート搭載のMacBook Proへ接続	
	B – Qio E3をThunderboltポート非搭載のMacBook Proへ接続	
	C – Qio E3をMac Proへ接続	
5	Windowsでのハードウェアのインストールと接続手順	6
	A – Express Bus Extender PCIe 2.0インストール手順	
	B – Qio E3をデスクトップコンピュータと接続する	
	B – Qio E3をラップトップコンピュータと接続する	
6	WindowsでのBIOSセットアップとソフトウェアインストール手順	9
	A – デスクトップユーザ用にBIOS設定を変更する	
	A – ラップトップユーザ用にBIOS設定を変更する	
	B – ソフトウェアのダウンロード	
	C – SxSドライバのインストール	
7	SxSメディアとExpressCard/34アダプタカードの使用	11
	カードの装着と取り外し	
	Sonnet PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタの使用	
	SxSメモリーカード書き込み禁止スイッチ	
8	eSATAで接続されたドライブを使用する	12
	Macでのドライブの接続と接続解除	
	Macでのドライブフォーマット	
	Windowsでのドライブの接続と接続解除	
	Windowsでのドライブフォーマット	
9	役立つ情報と既知の問題	13
	役立つ情報	
	既知の問題	
10	技術情報、安全上の注意、FCC準拠、製品保証とサポート情報	14
	技術情報	
	安全上の注意	
	FCC 準拠	
	カスタマーサービスへのお問い合わせ	

第1章：製品概要とパッケージの内容

概要

Qio E3は、プロフェッショナル用SxS™3基搭載メディアリーダライタ、eSATAホストコントローラ、およびExpressCard/34対応の拡張用筐体です。Qio E3には、Sonnet Express Bus Extender PCIe 2.0アダプタカード（デスクトップ型コンピュータ対応）とSonnet Express Bus Extender ExpressCard®/34アダプタ（ノート型コンピュータ対応）が付属されます。どちらのアダプタカードも、単品として別売されています。

Qio E3では、SxSメモリーカードスロットを3基搭載、カードーカード、カードーコンピュータ、カードー接続したドライブとの間でのデータ転送が可能、さらにカード2枚以上を同時に使用してデータの同時転送が可能です。別売できるExpressCard/34メディアリーダを併用すると、CompactFlash™、Memory Stick™、MMC、SD、xD-Picture Card™メモリーカードも使用できます。

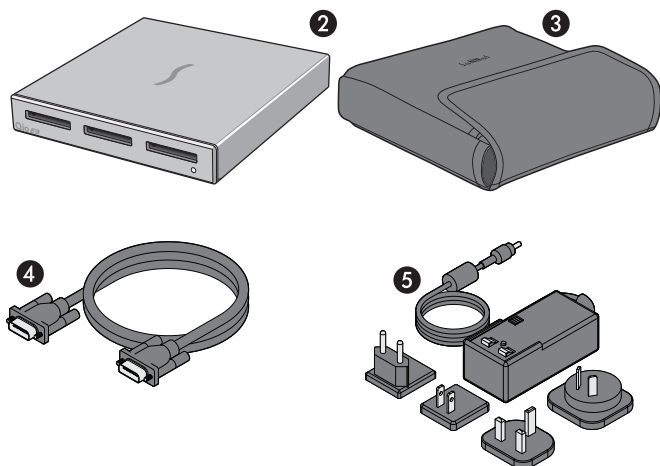
Qio E3のeSATAコントローラはSonnet Tempo™ SATA 6Gb/s PCIe 2.0ホストコントローラと同等の性能を提供。ハードウェアRAIDコントローラ対応により、Qio E3ではドライブを最高8台（ドライブ筐体2台接続時）サポートします。

Qio E3はExpressCard/34アダプタカードに対応。互換性のあるアダプタの種類として、メモリーカードリーダー、eSATA、FireWire®、Gigabit Ethernet、SmartCardリーダー、TVチューナー、USB、WiFi®、WWANモデム他が含まれます。アダプタカードとメモリーカードは同時に使用できませんが、使用するコンピュータのPCI Express®バスの帯域幅が不十分ですとパフォーマンスが制限されることがあります。

効率的に手順を進めるため、ぜひ本ユーザガイドをお読みいただき、からQio E3の使用を開始してください。

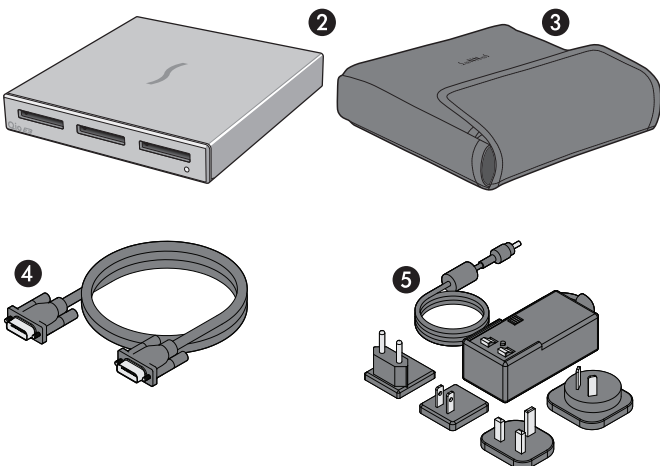
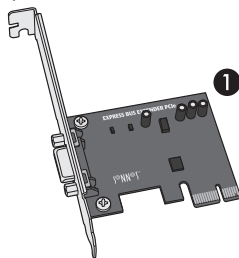
パッケージ内容—QIO-E3-E34

- 1 - Sonnet PCIe Bus Extender ExpressCard/34 アダプタ
- 2 - Qio E3プロフェッショナル用SxSメディアリーダ（筐体）
- 3 - キャリングケース
- 4 - 1メートル長 PCIe x1 外付けインターフェースケーブル
- 5 - 12V電源と付属の3メートル長ケーブル

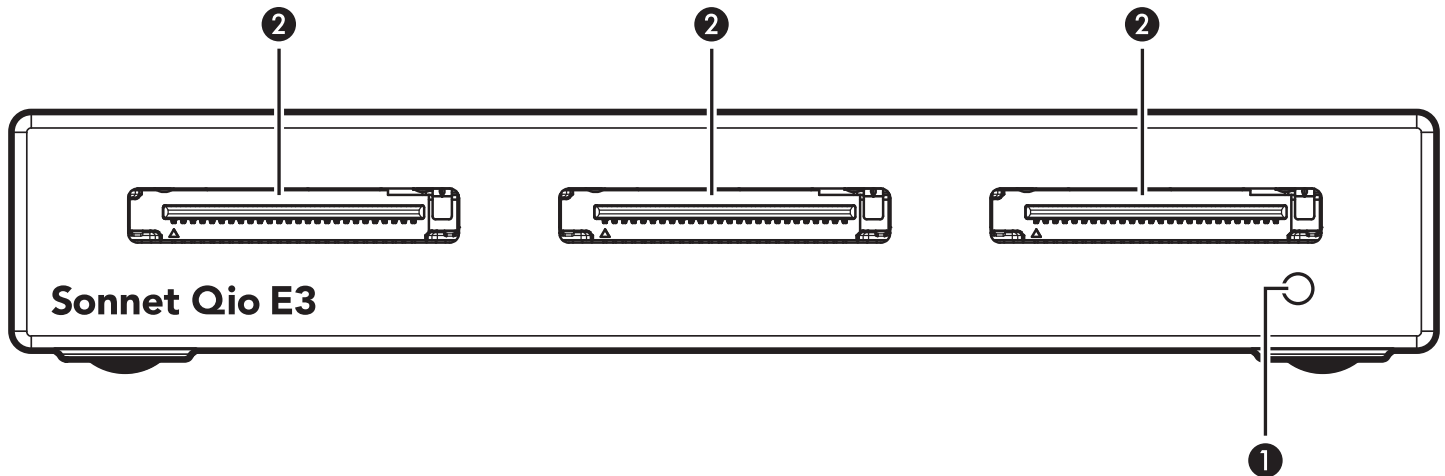


パッケージ内容—QIO-E3-PCIE

- 1 - Sonnet Express Bus Extender PCIe 2.0 アダプタカード
- 2 - Qio E3プロフェッショナル用SxSメディアリーダ（筐体）
- 3 - キャリングケース
- 4 - 1メートル長 PCIe x1 外付けインターフェースケーブル
- 5 - 12V電源と付属の3メートル長ケーブル



第2章 : Qio E3筐体の説明

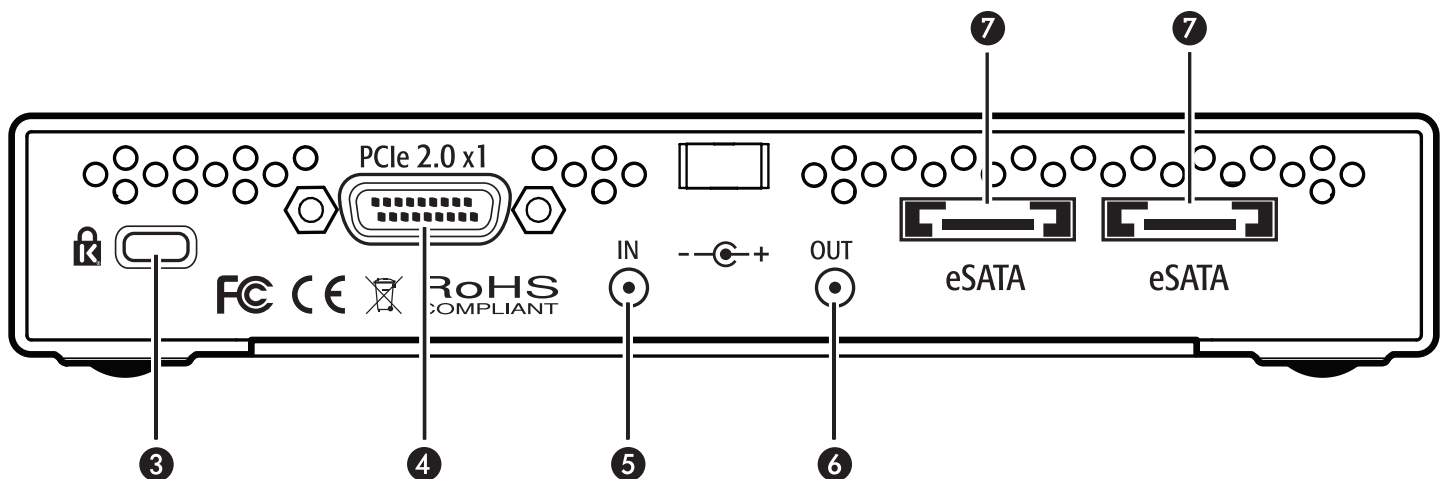


1 - 通電表示LED

このインジケータはQio E3が通電状態のとき点灯します。Sonnetアダプタカードはこのスロットに適切にインストールされ、接続したPCIeケーブルがきちんと接続された場合は、コンピュータ側は通電されています。

2 - SxS メディアスロット

これらのスロットはSxSメモリーカード、ExpressCard/34アダプタカードの双方を使用可能です。これらのスロットへ別売のSonnetメモリーカードリーダーを併用した場合は、Memory Stick、SDXC™、SD、MMC、xD-Pictureメモリーカードの使用も可能です。



3 - セキュリティスロット

このスロットはKensington®社ブランドおよび類似のセキュリティロック製品に対応しており、Qio E3筐体を保護するとともに盗難を抑止します。

4 - PCIe x1コネクタ

Qio E3筐体とコンピュータのPCIeバス拡張カードの接続時、このコネクタを付属のインターフェースケーブルの一端と接続します。

5- 12VDC入力ソケット

付属のAC電源アダプタケーブル、(外付けバッテリーまたは別途電源に接続された) 別売のXLR電源アダプタケーブルのいずれかを接続して、Qio E3筐体に電源供給します。

6 - 12VDC 出力ソケット

このソケットから、接続したSonnet Fusion™ F2ドライブ2基RAID SATAストレージシステムに電源を供給します。

重要：電源の入力ケーブルをここへ接続しないでください。

7 - eSATAポート

このポートはQio E3筐体とSATAドライブ筐体間にて、eSATAデータケーブルで接続するためのものです。各ポートは、単体ドライブ、SSD、eSATAインターフェース搭載ハードウェアRAIDコントローラ対応ドライブ筐体をドライブ最高4台までをサポートします。

第3章：Macでのソフトウェア/ハードウェアインストール手順

本章では、MacでのQio E3ソフトウェアとハードウェアのインストール手順を網羅しています。Windowsでの手順は本書「第5章 - Windowsでのハードウェアインストールと接続手順」へ進んでください。

A — ソフトウェアのダウンロード手順

Qio E3筐体を接続する前にドライバのインストールを行ってください。また、最新のSxS device/UDF対応ドライバが必要な場合があります。

1. インターネットへログオンします。
2. <http://www.sonnettech.com/support/kb/kb.php>へアクセスし、「Pro Media Readers」>「Qio E3」リンクをクリックします
3. 「Driver (ドライバ)」リンクをクリックして「Qio E3 System Installer」リンクをクリックします。「Download Now」ボタンをクリックし、ファイルをダウンロードします。
4. Sony SxS device/UDF対応ドライバをインストールしたことを確認できたら、「B - Qio E3システムドライバのインストール手順」へ進んでください。未インストール、未確認の場合は、「Qio E3 SxS Device Drivers Installer」リンクをクリックしてから「Download Now」ボタンをクリックすると、Sony社のウェブページへ飛びます。「Click here」をクリックします。
5. 「使用許諾契約」ウィンドウではライセンスについて読み、「続ける」、続いて「同意する」をクリックしてください。

B — Qio E3システムのソフトウェアインストール手順

1. ダウンロードした「.dmg」ファイルを確認後ダブルクリックして「Qio E3 System x.x.x Installer」ウィンドウが開きます。
2. 「Qio E3 System Installer x.x.x.mpkg」ファイルをダブルクリックしインストーラを起動します。「よろこそQio E3 System Installerインストーラへ」というウィンドウで「続ける」をクリックします。
3. 「大切な情報」ウィンドウでは「続ける」をクリックしてください。
4. 「使用許諾契約」ウィンドウではライセンスについて読み、「続ける」、続いて「同意する」をクリックしてください。
5. 「標準インストール」ウィンドウでは、インストール先を初期設定の保存先にする、または新たに保存先を指定してください。標準インストールの場合は「インストール」、インストールするパッケージを個別に指定する場合は「カスタマイズ」をクリックしてインストール項目を指定した後「インストール」をクリックします。
6. パスワード入力画面でパスワードを入力し「OK」をクリックします。
7. ドライバがインストールされる間、進行状態を表すバーが表示されます。「インストールは正しく完了しました」の表示になったら「再起動」をクリックします。

8. コンピュータの再起動プロセスが終わったところで、SxSドライバをダウンロードしてある場合は「C - SxSドライバのインストール手順」へ進んでください。ダウンロードがまだの場合、QIO-E3-PCIEをご購入された場合は「D - Express Bus Extender PCIe 2.0のインストール手順」へ進んでください。それ以外の場合は「第4章：MacでのQio E3の接続手順」へ進んでください。

C — SxSドライバのインストール手順

1. ダウンロードした最新の「SxS_UDF_vX_xx_and_Device_Drivers_vX_xx.zip」ファイルをダブルクリックし、フォルダが1つ元のファイルと同じ場所に作成されます。
2. その「SxS_UDF_vX_xx_and_Device_Drivers_vX_xx」フォルダを開きます。
3. 2つのReadMeファイルを読み、そこに記載されているデバイスドライバ、UDFドライバのインストール方法に沿ってインストールを行ってください。



警告： コンピュータ製品を取り扱う際には、部品が静電気により破損しないよう細心の注意を払ってください。カーペットなど静電気の発生しやすい場所での作業は避けてください。カードを扱う際には必ず角の部分を持つようにしコネクタ部分やピンには直接触れないようご注意ください。また、ロジックボードやその部品に触れないようご注意ください。

D — Express Bus Extender PCIe 2.0インストール手順

QIO-E3-PCIEご購入の場合、まずソフトウェアのインストールを行い、その後PCIeアダプタカードをコンピュータへ装着してください。

1. コンピュータの電源を落としていなかった場合は、電源を切ります。筐体を開き、拡張カード (PCI Expressスロット) の位置を確認してください。詳細は使用するコンピュータのユーザマニュアルを参照してください。



参考情報： 静電気が再び帯電するのを避けるため、Qio E3のインストール完了、コンピュータを閉じる作業が完了するまでは作業中にむやみに歩き回らないようにしましょう。

2. 使用するPCI Expressスロットを定めそのアクセスカバーを取り外します。
 - Mac Pro (Early 2010)、Mac Pro (Early 2009)、pre-2008 (2008年以前の機種)の Mac Proの場合はどのスロットでも装着可能です。
 - Mac Pro (Early 2008) の場合は、可能な限りスロット2、それが無理な場合はスロット3、4のどちらかへ装着してください。
3. Sonnetカードをパッケージから取り出し、スロットへ装着します。カードがしっかりと装着されていることを確認します。
4. コンピュータの筐体を元通り閉じます。

(次頁へつづく)

第3章：Macでのソフトウェア/ハードウェアインストール手順

D — Express Bus Extender PCIe 2.0インストール手順 (つづき)

5. Mac Pro (Mid 2010) Mac Pro (Early 2009) Mac Pro (Early 2008)へインストールした場合は、「第4章 - MacでのQio E3の接続手順」へ進んでください。

pre-2008 (2008年以前の機種)へカードをインストールした場合は、電源を入れてください。Mac OS Xのバージョンによっては「**拡張スロットユーティリティ**」が開きます。自動的に開かない場合は、手動で起動してください(拡張スロットユーティリティは /システム/ライブラリ/CoreServicesフォルダ内にあります)。適切な設定内容を選び(このSonnetカード製品はx1カードです)、初期値の設定で良い場合は「**完了**」を、設定内容を変更した場合は「**保存と再起動**」をクリックします。コンピュータをシステム終了します。次ページ「第4章 - MacでのQio E3の接続手順」へ進んでください。

第4章：MacとQio E3への接続

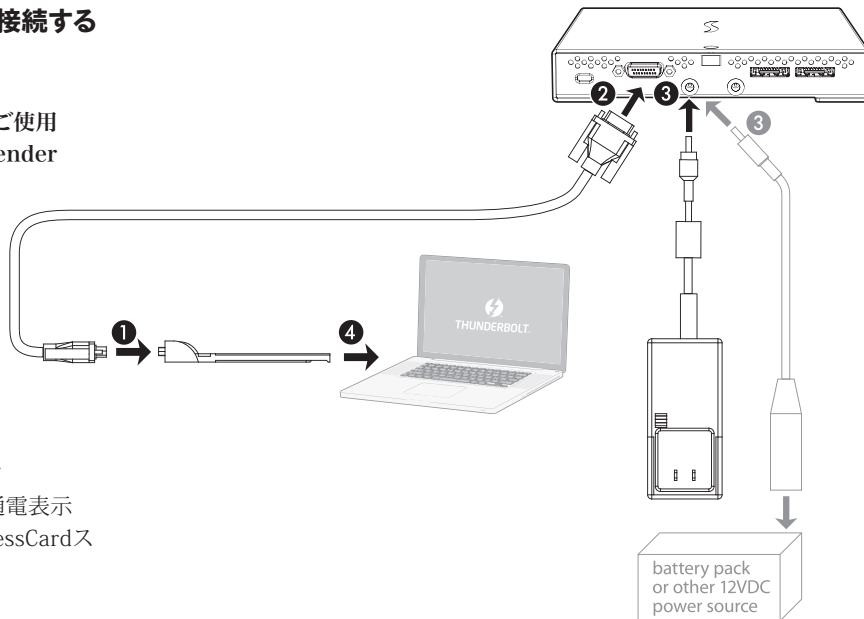
Qio E3をThunderbolt™搭載MacBook Proと接続する

コンピュータの電源を入れた後に、PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタとQio E3筐体を接続してください。

重要：Thunderboltポートの搭載されたMacBook Proをご使用の場合、コンピュータが起動済みの状態で、PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタを接続する必要があります。

ソフトウェアインストール後、次の手順通り進めてください。

1. PCIe x1 外付けインターフェースケーブルとPCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタを接続します。
2. ケーブルのもう一方の端をQio E3筐体に接続します。
3. (バッテリーまたは元電源に接続された) AC電源アダプタまたは別途XLR電源ケーブルを接続します。Qio E3の通電表示LEDはExpressCard/34アダプタがコンピュータのExpressCardスロットに装着されるまでは点灯しません。
4. コンピュータを起動します。
5. PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタをコンピュータのExpressCardスロットへ装着します。Qio E3の使用準備完了です。

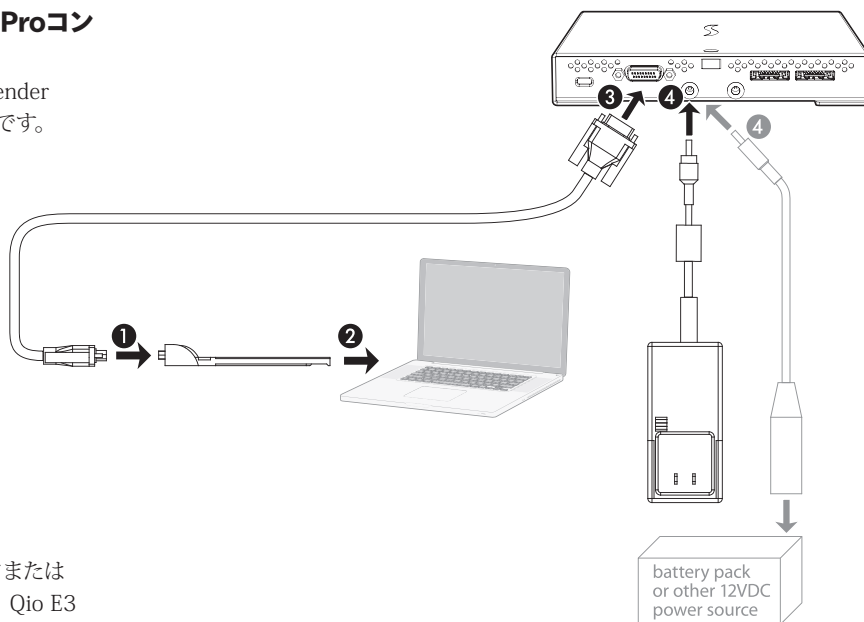


Qio E3をThunderboltポート非搭載MacBook Proコンピュータと接続する

コンピュータの電源を入れる前に、あらかじめPCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタとQio E3筐体を接続する点が重要です。手順の順番を厳守してください。

ソフトウェアインストール後、次の手順通り進めてください。

1. 外付け PCIe x1 インターフェースケーブルをPCIe Bus Extender ExpressCard/34と接続します。
2. PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタをコンピュータのExpressCardスロットへ挿入します。
3. インターフェースケーブルのもう一方の端をQio E3筐体と接続します。
4. (バッテリーまたは元電源に接続された) AC電源アダプタまたはオプションのXLR電源ケーブルをQio E3に接続します。Qio E3の通電表示LEDはExpressCard/34アダプタがコンピュータのExpressCardスロットに装着されるまでは点灯しません。
5. コンピュータを起動しますと、Qio E3の使用準備が完了します。



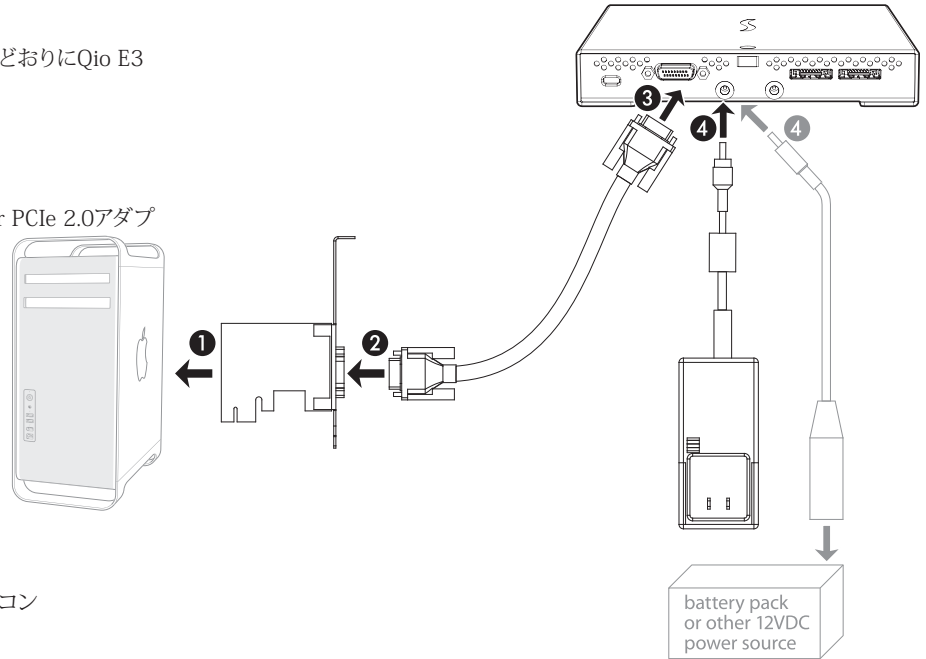
第4章 : MacとQio E3への接続

Qio E3をMac Proと接続する

コンピュータの電源を落とした状態で、次の正しい順番どおりにQio E3を接続し電源を入れてください。

コンピュータの電源を落とした状態で、

1. 前章にて記述の通り、ソフトウェアとBus Extender PCIe 2.0アダプタカードをコンピュータへインストールします。
2. PCIe x1 外付けインターフェースケーブルをコンピュータにインストールしたBus Extender PCIeアダプタカードと接続します。
3. インターフェースケーブルのもう一方の端をQio E3筐体と接続します。
4. (バッテリーまたは元電源に接続された) AC電源アダプタまたはオプションのXLR電源ケーブルをQio E3に接続します。Qio E3の通電表示LEDはコンピュータの電源を入れるまで点灯しません。
5. コンピュータを起動しますと、Qio E3は使用可能状態となります。



第5章 : Windowsでのハードウェアのインストールと接続手順

警告 : コンピュータ製品を取り扱う際には、部品が静電気により破損しないよう細心の注意を払ってください。カーペットなど静電気の発生しやすい場所での作業は避けてください。カードを扱う際には必ず角の部分を持つようにしコネクタ部分やピンには直接触れないようご注意ください。また、ロジックボードやその部品に触れないようご注意ください。

A - Express Bus Extender PCIe 2.0インストール手順

QIO-E3-PCIEモデルをお使いになる場合は、まずPCIeアダプタカードをコンピュータにインストールします。異なるモデルの場合は次ページに進んでください。

1. コンピュータの電源を落とし、次にコンピュータの背面にある拡張カードアクセスカバーに触れ、体に帯電した静電気を除去します。
2. 電源コード、その他コンピュータから電源を摂っているデバイス（モニタ、プリンタ等）があればそれらのケーブルも外します。

3. 拡張カードスロット(PCI Expressスロット)の場所で作業ができるようにコンピュータのケースを開き準備します。詳細は使用されるコンピュータのユーザマニュアルを参照してください。

4. カードをインストールする空きPCI Expressスロット (可能ならPCIe 2.0)を決め、そのアクセスカバーを外します。



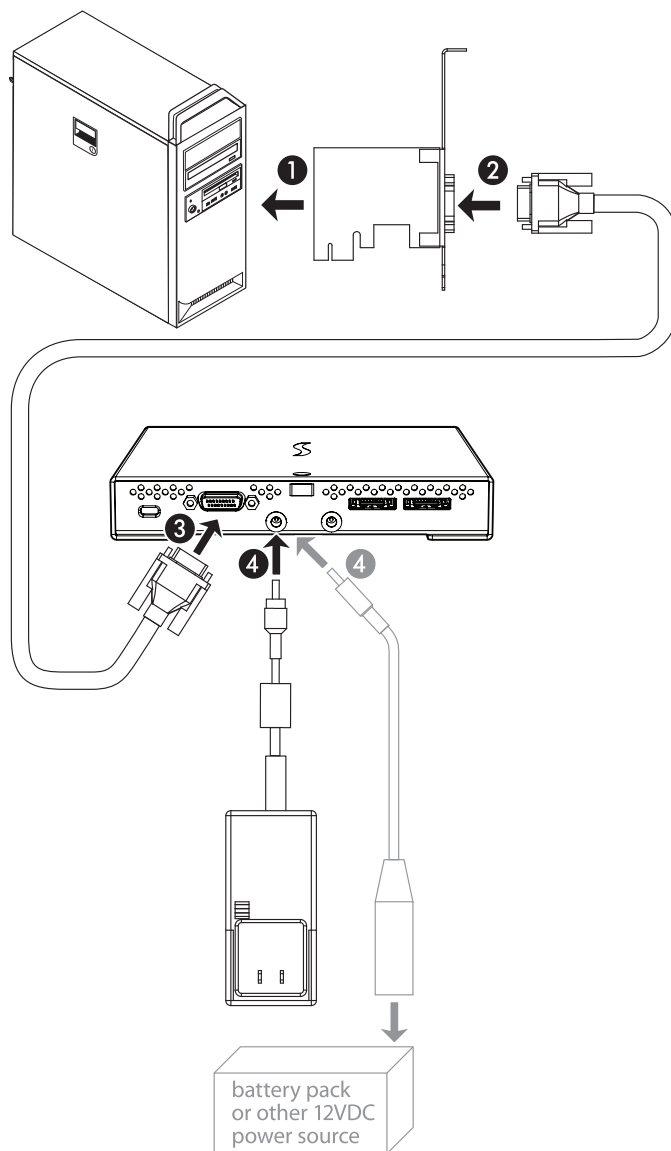
参考情報 : 静電気が再び帯電するのを避けるため、Qio E3のインストール完了、コンピュータを閉じる作業が完了するまでは作業中にむやみに歩き回らないようにしましょう。

5. Sonnetカードをパッケージから取り出し、スロットへインストールします。インストールしたカードがしっかりと装着されていることを確認してください。

6. コンピュータ筐体を閉じます。ただし、この時点ではまだ電源ケーブル等は接続せずにおきます。

B - Qio E3をデスクトップコンピュータと接続

1. Bus Extender PCIe 2.0アダプタカードをコンピュータにインストールする手順は上記の通りです。
2. 外付けPCIe x1 インターフェースケーブルをコンピュータのBus Extender PCIe 2.0アダプタカードに接続します。
3. ケーブルのもう一方の端のインターフェースをQio E3筐体に接続します。
4. ACアダプタまたは（バッテリーまたは他の電源供給源に接続された）XLR電源ケーブル（別売）をQio E3に接続します。Qio E3の通電表示LEDはコンピュータの電源を入れるまで点灯しません。
5. 電源ケーブル、周辺機器のケーブルをコンピュータに接続し直します。「第6章 - WindowsでのBIOSセットアップとソフトウェアのインストール手順」へ進んでください。

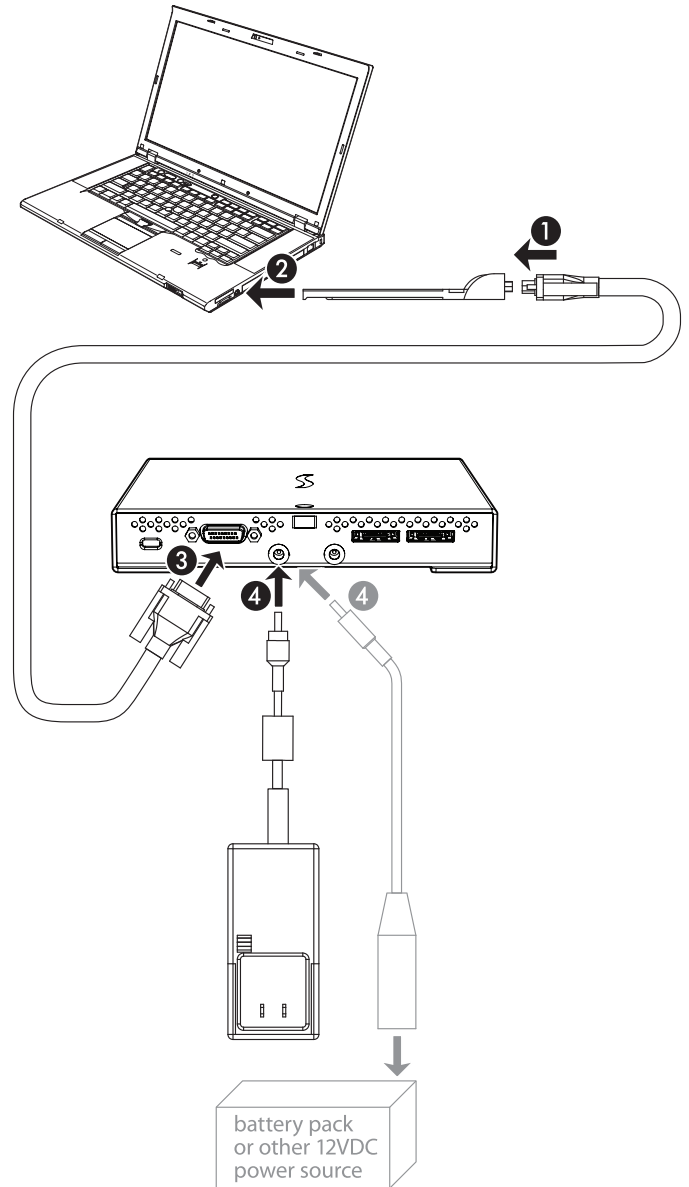


第5章 : Windowsでのハードウェアのインストールと接続手順

B - Qio E3をラップトップコンピュータと接続

コンピュータの電源を落とした状態で、次の正しい順番通りにPCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタとQio E3筐体の接続を行ってください。

1. 外付けPCIe x1 インターフェースケーブルとPCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタを接続します。
2. PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタをコンピュータのExpressCardスロットへ挿入します。
3. ケーブルのもう一方の端をQio E3筐体に接続します。
4. ACアダプタまたは（バッテリーまたは他の電源供給源に接続された）XLR電源ケーブル（別売）をQio E3に接続します。Qio E3の通電表示LEDは、コンピュータの電源が入るまで点灯しません。
5. 「第6章 - WindowsでのBIOSセットアップとソフトウェアインストール」へ進んでください。



第6章 : WindowsでのBIOSセットアップとソフトウェアインストール手順

A – デスクトップユーザ用にBIOS設定変更する



参考情報: PCI I/Oリソース領域が限られているため、コンピュータ内BIOSのオプションROMを少なくとも1つ以上無効化するための方法の記載に沿ってください。Sonnetカードを別のスロットへ移動する必要がある場合があります。Qio E3の全機能をサポートするにはオプションROM項目を最低1項目以上無効化する必要があります。BIOSにてオプションROMを再度有効化することは可能です。

1. コンピュータを起動後、直ちにコンピュータのBIOS (セットアップ) メニューに入ってください。詳細のそれぞれ特定の手順についてはコンピュータのユーザガイドを参照してください。
2. 「S errors (SERR#)」オプションがあるか確認し、ある場合は無効化してください
3. 変更を保存しexitを行い再起動をかけます。コンピュータが通常起動した場合は、「B - ソフトウェアのダウンロード」の手順へ進んでください。それ以外の場合は次の手順へ進みます。
4. コンピュータの電源を切り、次に電源コードおよび電源供給されているデバイス (モニタ、プリンタ等) の残りのケーブルについても取り外してください。外し終わったら、筐体のケースを開き、拡張カードの場所を確認します。
5. Sonnetカードを現在装着されているスロットから外し、既にカードが装着された別のスロットへSonnetカードと場所を入れ替えてインストールしてください (グラフィックスカード以外の別のスロット)。カードが適切にインストールされ固定されていることを確認してください。
6. コンピュータ筐体を閉じ、電源コードおよび周辺機器のケーブル類を接続し直してください。
7. コンピュータの電源を入れます。通常起動で起動できるようであれば、「B - ソフトウェアのダウンロード」手順へと進んでください。通常起動がうまく行かない場合は手順4~7を繰り返し、別のスロットにインストール、そして全てのスロットについて試行し、依然としてコンピュータがSonnetカードのインストールによるフリーズ現象がある場合は、Sonnetカードを前にインストールした各スロットへ再度インストールを試みてください。
8. コンピュータを起動後すぐに、BIOS (セットアップ) メニューに入ってください。
9. オプションROMの中で有効化されている不利用の項目を無効化するため、ロジックボードのLSI RAIDコントローラを始めとする各項目を確認し無効化してください。
10. 変更を保存しexitを行い再起動をかけます。コンピュータが通常起動した場合は、「B - ソフトウェアのダウンロード」項目へ進んでください。それ以外の場合、コンピュータをシステム終了し、別の不利用のオプションROMの無効化を行うため、手順8~10を繰り返してください。



参考情報: コンピュータにインストールされたQio E3が原因でコンピュータが機能しない場合、Sonnetカードを取り外してSonnetサポートまたは製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。情報の詳細につきましてはWindows対応Qio E3 FAQウェブページ www.sonnettech.com/support/kb/kb.php を参照してください。

A – ラップトップユーザ用にBIOSを設定変更する



参考情報: PCI I/Oリソース領域が限られているため、コンピュータ内BIOSのオプションROMを少なくとも1つ以上無効化するための方法の記載に沿ってください。Sonnetカードを別のスロットへ移動する必要がある場合があります。Qio E3の全機能をサポートするにはオプションROM項目を最低1項目以上無効化する必要があります。BIOSにてオプションROMを再度有効化することは可能です。

1. コンピュータを起動後、直ちにコンピュータのBIOS (セットアップ) メニューに入ってください。詳細のそれぞれ特定の手順についてはコンピュータのユーザガイドを参照してください。
2. 「S errors (SERR#)」オプションがあるか確認し、ある場合は無効化してください
3. 変更を保存しexitを行い再起動をかけます。コンピュータが通常起動した場合は、「B - ソフトウェアダウンロード」の手順へ進んでください。それ以外の場合は次の手順へ進みます。
4. コンピュータを起動後、直ちにコンピュータのBIOS (セットアップ) メニューに入ってください。
5. オプションROMの中で有効化されている不利用の項目を無効化するため、ロジックボードのLSI RAIDコントローラ項目ほかを確認して無効化してください。
6. 変更を保存しexitを行い再起動をかけます。コンピュータが通常起動した場合は、「B - ソフトウェアのダウンロード」の手順へ進んでください。それ以外の場合は手順4~6を繰り返し行い、別の有効化項目で不利用な項目を無効化してください。



参考情報: コンピュータにインストールされたQio E3が原因でコンピュータが機能しない場合、Sonnetカードを取り外してSonnetサポートまたは製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。情報の詳細につきましてはWindows対応Qio E3 FAQウェブページ www.sonnettech.com/support/kb/kb.php を参照してください。

B – ソフトウェアのダウンロード



参考情報: 最新のSxS device and UDF対応ドライバがインストールされている場合、下記のソフトウェアのダウンロードおよびインストールの手順が省略可能な場合があります。

1. インターネットにログオンします。
2. 「<http://www.sonnettech.com/support/kb/kb.php>」へアクセスし「Pro Media Readers」続いて「Qio E3」をクリック。
3. 「Driver」リンクを確認して「Qio E3 SxS Device Drivers Installer」リンクをクリック、「Download Now」ボタンをクリックします。Sony社ウェブサイトへ転送されます。「Click here」リンクをクリックします。
4. 「License Agreement」ページのところで、ライセンスについて目を通し「I Agree」をクリックします。コンピュータの設定によっては新規ウィンドウが表示され、ファイルの扱い方について表示されます。その場合「Open」をクリックします。別のウィンドウが表示されファイルを開く許可を求めた場合は「Allow」をクリックします。

第6章 : WindowsでのBIOSセットアップとソフトウェアインストール手順

B – ソフトウェアのダウンロード (つづき)

5. zipファイルの中身を表示するウィンドウが表示されるので、場所を確認の上「Extract Files (ファイルを解凍)」をクリックします。
6. 「Extract Compressed (Zipped) Folders (圧縮zipフォルダを解凍)」とのウィンドウが表示されたら「Browse (参照)」をクリックします。
7. 「Select a destination (保存先の選択)」ウィンドウが表示されるので保存先を指定し「解凍」をクリックします。

C – SxS ドライバのインストール

1. 「SxS_UDF_vX_xx_and_Device_Drivers_vX_xx」フォルダを開きます。
2. 2つのReadMeファイルを開きます。ファイルを読み、そこで触れている、デバイスドライバとUDFドライバのインストールについての手順に沿ってドライバをインストールします。

第7章：メモリーカードとアダプタカードの使用

カードの装着と取り外しについて

全ての種類のカードに共通する事項

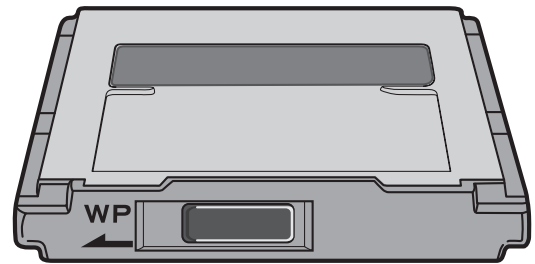
- カードは Qio E3筐体のスロットに対し真っ直ぐ、上側のカバーに対して平行に挿入してください。
- カードやQio E3筐体を破損する恐れがありますので、カードをスロットコネクタへ無理に挿入しないでください。
- カードを装着するには、スロット内に入れて「カチッ」というところまで挿入します。
- **Macの場合**：メモリーカードを取り外す際、マウントされたボリュームをDockのEject（取り出し）アイコンへドラッグ、またはFinderウィンドウからイジェクト（またはアンマウント）をクリック、のいずれかを確実に行ってからカードを取り外してください。
- **Windowsの場合**：SxSメモリーカードを実際に取り外す前に、タスクバーをクリックし「ハードウェアの安全な取り外し」>「安全にSony SxSを取り外す...」の手順を踏み、カードがイジェクトされたことを確認してください。
- **Windowsの場合**：ExpressCard/34アダプタを取り外す前に、タスクバーをクリックし「ハードウェアの安全な取り外し」>「安全にハードウェアを取り外す...」の手順を行ってください。
- ケーブルとExpressCardアダプタを接続して使用する際、必ず先にケーブルをアダプタカードと接続し、その後アダプタカードをQio E3筐体のスロットへ装着してください。
- カードを取り外す際は、再びカチッと音がする所までカードを押し入れると、カードが排出されます。
- カードを取り出す際、カードを中へ押さずに引き抜かないでください。次回カードをスロットへ挿入する際、すぐに排出されてしまう等の問題が生じる場合があります。

Sonnet PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタの使用

- PCIe x1外付けインターフェースケーブルをPCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタに接続した後、そのアダプタカードをコンピュータのExpressCardスロットへ接続してください。
- コンピュータの電源がオフになっている場合を除き、PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタをコンピュータから取り外さないでください。
- **MacBook ProにThunderboltポート未搭載の場合は、PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタはホットプラグ機能をサポートしません。**コンピュータの電源を入れる前にあらかじめQio E3筐体接続のコンピュータへアダプタを装着してください。
- ケーブルMacBook ProがThunderboltポート未搭載ではない場合、PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタをホットプラグ機能を使用する必要があります。
コンピュータ起動後に、Qio E3筐体が接続されているコンピュータにこのアダプタを挿入し、Qio E3の電源を入れてください。この手順を行わない場合、Qio E3を接続したコンピュータを起動、再起動した際にQio E3が認識されなくなりますのでご注意ください。

SxSメモリーカード書き込み禁止スイッチ

SxSメモリーカードには書き込み禁止スイッチが装備されています。「WP」位置に設定されている時、データの保存、編集および削除機能は使用できません。Qio E3の中へ挿入されている状態では、SxSカードのスイッチ位置の変更を行わないでください。スイッチの位置を変更する必要が生じた場合は、前述の通り、カード取り出しの手順に従ってスロットからカードを取り出し、カードのスイッチの位置を変更し、その後再びスロット内へカードを挿入し直してください。



書き込み禁止スイッチの切り替えはQio E3スロットへカードが挿入されていない時に行ってください

第8章 : eSATAで接続されたドライブを使用する

Macの場合 : ドライブの接続 / 接続解除

- Mac OS Xの場合はQio E3に接続されたドライブにおいて使用時に接続と取り外し (ホットプラグ、ホットスワップ機能) が可能です。
- Qio E3や接続されたドライブからケーブルを取り外す前に、まずマウントされたドライブ、ボリュームアイコンを Dockの取り出し (イジェクト) アイコンへドロップします。別の方法としてはFinderウィンドウ内のイジェクトボタンをクリックします。この手順をとらない場合、接続されたドライブ上のデータ破損が生じることがあります。

Macの場合 : ドライブのフォーマット

Qio E3では1基または2基の単体ドライブ筐体、またはハードウェア RAIDコントローラ搭載したドライブ筐体2台にドライブ最大8基をサポートします。接続されたドライブをセットアップするため、ディスクユーティリティ (アプリケーションフォルダの中にあるユーティリティフォルダ内) を使用します。

Windowsの場合 : ドライブの接続 / 接続解除

- 毎回、コンピュータと接続したドライブ双方の電源を落としてから接続ドライブとケーブル類を取り外してください。
- Qio E3や接続されたドライブからeSATAケーブルを取り外す前に、まずコンピュータを終了させて電源を落としてください。

Windowsの場合 : ドライブのフォーマット

Qio E3では1基または2基の単体ドライブ筐体、またはハードウェア RAIDコントローラ搭載したドライブ筐体2台にドライブ最大8基をサポートします。Windowsのドライブフォーマットツール (ディスク管理、Disk Management) を使用してTempoカードに接続したドライブのフォーマットを行う場合、Windows Help内の検索項目「Format volume」「create striped volume」等を参照してください。

第9章：役立つ情報と既知の問題

役立つ情報

ホットプラグ対応カード製品

Qio E3筐体からホットスワップ、ホットスワップ機能を使ってメモリーカードを装着、取り外しが行えますが、適切な手順でボリュームをイジェクト（解除）しない場合は、カード上のデータの損失やコンピュータの予期せぬ動作を引き起こす原因となります。コンピュータがスリープ中にQio E3筐体へカード製品を挿入／装着しないでください。

Qio E3筐体のホットプラグ機能

Qio E3筐体のホットプラグ機能は未対応です。電源とQio E3筐体は接続されていて、かつQio E3はアダプタカードが本書内に記載された手順に則っている必要があります。コンピュータの起動時点において、Qio E3にメモリーカードおよびアダプタカードは挿入済みである場合があります。

メモリーカードのフォーマット

最大限の互換性能を得るには、ご使用のカメラ製品内で、メモリーカードのフォーマットを行います。稀にQio E3にてフォーマットされたカードが認識されず、カメラに読み込まれる際に再フォーマットが必要となる場合があります。

デバイスドライバ

アダプタカードの使用時、フル性能で機能させるために、追加ドライバが必要となる場合があります。ソフトウェアはデバイスに付属、もしくは、製造元メーカーのウェブサイトにてダウンロードで利用可能です。必要なソフトウェア情報については該当の周辺機器のユーザマニュアルを確認してください。

アダプタカードへ接続されたデバイスへの電源

Qio E3筐体に接続されたアダプタカードから直接電源供給を受ける周辺機器が殆どですが、Qio E3が供給できる以上の電源が必要なデバイス機器については、外部電源が必要となる場合があります。必要に応じて外付けで電源供給を行ってください。

既知の問題

Qio E3筐体へホットプラグで接続時、ExpressCardアダプタが正しく認識されないことがあります

FireWire、コンボFireWire/USBカードはコンピュータが起動している時に装着された場合は、機能しません。起動時にQio E3筐体に装着（挿入）されたカード製品は、問題なく動作します。

スリープ状態からの解除時、起動に時間がかかることがあります

ストレージデバイスがQio E3筐体のアダプタカード内に挿入されている時、コンピュータがスリープ状態の解除（起動）するのに、まれに数分かかることがあります。Sonnetは、今後のソフトウェアのアップデートでこの問題が解決されるよう努めています。

第10章：技術情報、安全上の注意、FCC準拠、製品保証とサポート情報

技術情報

外付けコネクタ (Qio E3筐体)	ExpressCard/34 (SxS) 3基 eSATA 2基 外付けPCIe x1 - 18 電源2基：12VDC@3A入力 (最大 20VDC) 1基、12VDC@ 0.5A出 力 2基
外付けコネクタ (アダプタカード)	外付けPCIe x1 - 18
データ転送速度 (PCIe 2.0アダプタ使用時)	集合値で最大400 MB/秒
データ転送速度 (ExpressCard/34アダプタ 使用時)	集合値で最大200 MB/秒
バスインターフェース (Qio E3筐体)	PCI Express 2.0
ExpressCard/34スロット 対応メディア	SxS、SxS Pro、SxS-1 (別売のアダプタ併用時 CF、SD、SDHC、SDXC、 Memory Stick、MMC、xD-Picture Card)
対応ドライブ数	最大8台*
対応ドライブの種類	シリアルATA III、II、I
ファームウェア	Flash-ROMにより最新のファーム ウェアのバージョンへアップグレー ド可能
起動ディスクのブート	未対応
寸法(Qio E3筐体)	WxDxH:14.9 x 15.7 x 2.5 cm
重量(Qio E3 筐体)	0.45 kg
RoHS準拠	準拠

* 最大8台のサポートにはハードウェアRAIDコントローラ搭載のドライブ筐体 (ソネットのFusion D400QR5、R400QR5等)の使用が必要です。

安全上の注意事項

作業を開始する前に必ずこの項をよくお読みください。この注意事項では、身体の安全を守り、本デバイスの損傷の可能性を最低限に抑えらるよう、製品の正しく安全な使用方法を説明しています。

警告

取り扱いを誤ると、感電やショート、火災、その他発生する可能性のある危険により死亡または重傷を負うおそれがありますので、常に以下の基本的な注意事項を守ってお使いください。以下の注意事項が挙げられますが、これに限定されるものではありません。

- ユーザが扱える部品の交換以外は、決して筐体の分解や改造を試みないでください。正常に動作していないように思われる場合は、製品をお求めになられた正規代理店または販売店までお問い合わせください。
- 筐体やアダプタを落下させたり乱暴に扱うと故障の原因になりますので、取り扱いの際には充分ご注意ください。
- 筐体内部に指や異物を差し込まないでください。特に小さなお子様がいらっしゃるご家庭ではご注意ください。
- 本デバイスを雨にさらしたり、水の近くや隙間にこぼれる恐れのある液体が入っている容器の近くで使用したり、湿気が高いまたは濡れた状態で使用しないでください。
- 異臭や異音、煙などが本デバイスから生じた場合や誤ってデバイスを濡らしてしまった場合は、直ちに電源を切り、コンセントからプラグを抜いてください。
- 必ずこのマニュアルに記載の手順に従ってください。ユーザガイドに記載されていない情報が必要な場合は、製品をお求めになられた正規代理店または販売店までお問い合わせください。

FCC 準拠

Express Bus Extender PCIe 2.0 2.0、PCIe Bus Extender ExpressCard/34、Qio E3は、FCC規制パート15に準拠しています。この機器は次の要件2点を満たした上で稼働します。この機器は有害な電波干渉を引き起こさないこと、且つ、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、あらゆる干渉を受け入れること。

製品保証とカスタマーサービスへのお問い合わせ

ソネットテクノロジー社は本製品の最初の購入日より2年間、製品上および材質上の欠陥が無いことを保証します。製品保証に関する全情報は、www.sonnettech.com/support/warranty.html に掲載されているのでご覧ください。

本製品に関するテクニカルサポートについては、お買い上げいただいた販売店までお問い合わせください。お問い合わせいただく前に、Sonnetのウェブサイト (www.sonnettech.com/jp) から最新のアップデート、オンラインでサポートファイルがあるか確認し、このユーザガイドをもう一度よくお読みください。

このページは空白にしています



Sonnet Technologies, Inc., California USA • Tel: 1-949-587-3500 Fax: 1-949-457-6349 • www.sonnettech.com/jp
©2012 Sonnet Technologies, Inc. All rights reserved. SonnetおよびSonnetのロゴ、Simply FastおよびSimply Fastのロゴ、Fusion、Tempo、Qio E3はSonnet Technologies, Inc.の登録商標です。 FireWire、Mac、Macのロゴ、Mac OS、MacBookは、米国内または他国におけるApple Inc.の登録商標です。Memory Stick、SxSはソニー株式会社の登録商標です。ThunderboltおよびThunderboltロゴは、米国内または他国におけるIntel Corporationの登録商標です。その他の商標については当該各社が所有権を有します。製品に関する情報は予告なしに変更されることがあります。Printed in the U.S.A. UG-QIO-E3-J-A-120911